

金剛寺と金華山(金剛院経塚) 全景 南より



経塚S3 掘削前状況 遠景 南西より



経塚S3 掘削前状況 西より



経塚S3 掘削前状況 南より



経塚\$3 掘削前状況 東より



経塚S3 掘削前状況 北西より



トレンチ3 東壁北半土層断面 西より



トレンチ3 東壁南半土層断面 南西より



トレンチ4 北壁西半土層断面 1/2 南西より



トレンチ4 北壁西半土層断面 2/2 南西より



トレンチ4 北壁東半土層断面 南より



経塚S3 遺物検出状況 西より



経塚S3 遺物検出状況 南西より



経塚S3 遺物検出状況 東より



経塚S3 遺物検出状況 北西より



経塚S3 銅製経筒出土状況 西より



経塚S3 経筒外容器 検出状況 西より



経塚S3 経筒外容器 検出状況 南西より



経塚S3 完掘状況 西より



経塚S3 完掘状況 石室東壁 西より



経塚S3 完掘状況 南より



経塚S3 完掘状況 石室北壁 南より



経塚S3 完掘状況 東より



経塚S3 完掘状況 北より



経塚\$3 完掘状況 石室南壁 北より



経塚S3 底石 検出状況 西より



経塚S3 底石 検出状況 南より



経塚S3 底石 検出状況 北より









報告書抄録

ふりが	な	こんごういんきょうづか へいせい 29 ねんど						
書	名	金剛院経塚 平成 29 年度						
副書								
 巻	次	2018年3月						
シリース	、名	まんのう町内遺跡発掘調査報告書						
シリーズを	番号	第 15 集						
編著者	名	中村 文枝						
編集機	関	まんのう町教育委員会 生涯学習課 文化財室						
=r +	111	〒766-0202 香川県仲多度郡まんのう町中通 875 番地 琴南公民館内						
所 在	地	TEL(0877)85-2221 FAX(0877)85-2826						
発 行 機	関	まんのう町教育委員会						
発行年月	I B	2018年3月31日						
が収遺跡名 が収遺跡名 こんごういんきょうづか 金剛院経塚		がながった。 が在地 まんのう町炭所東		コード			جه را ل	± 47
				市町村		遺跡番号	北緯	東経 -
				374067			34度11分	133 度 53 分
		まんのう町。	灰別果	374007			58 秒	35 秒
調査期間			調査面積		調査原因		種別	主な時代
平 29. 10. 25~平 30. 1. 15			9.36 m²		学術目的調査		経塚	鎌倉
主な遺構		主な遺物						
経塚	銅隻	同製経筒蓋・銅製経筒・瓦質土器甕・土師質土器経筒外容器蓋・土師質土器経						
胜塚	筒夕	外容器·鉄製経筒蓋·鉄製釘·須恵器椀						

概 要

金剛寺本堂裏、寺院敷地より北にあたる金華山(標高 207.6m)の頂上に存在する経塚群より、昭和37年の発掘調査で12世紀前半~13世紀前半の経筒等が出土し、約100年の間に連綿と経塚が造られていたことが確認された。経塚より出土した遺物は十三重塔と共に、まんのう町の有形文化財に指定されている。

本年度の調査は、頂上の第1テラスにおいて実施した。経筒外容器上部が露出し、下部が埋没しているとみられる経塚1基を掘削調査し、経筒が埋納された状態の石室を確認した。

まんのう町内遺跡発掘調査報告書 第15集

金 剛 院 経 塚

平成 29 年度

平成 30 年 3 月 31 日 発行

編集・発行 まんのう町教育委員会 生涯学習課 文化財室

766-0202

香川県仲多度郡まんのう町中通875番地 琴南公民館内

電話 (0877)85-2221

印 刷 株式会社 美巧社